

様式第十八の八（第11条の4第6項関係）

変更後の認定事業適応計画の概要の公表

1. 変更認定をした日付

令和5年8月31日

2. 認定事業適応事業者の名称

株式会社NTTデータグループ

3. 認定事業適応計画の内容

(1) 事業適応に係る事業の目標

NTTデータグループでは従来から、我々が開発するITシステムと事業活動が環境に与える負荷の軽減に努めています。

当事業適応計画は、拡大するデータセンター需要へ対応するため、当社の三鷹第二データセンターの増設（第二棟）にかかる設備投資を行うものです。

第二棟では高効率な空調・電力等設備の導入に加え、空調IoTなどファシリティとITを融合した先進技術によって事業に伴うCO2排出量を減少させ、グリーンイノベーションを実現し、国内外をリードするデータセンターを目指します。

(2) その事業の生産性を相当程度向上させること又はその生産し、若しくは販売する商品若しくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標

三鷹第二データセンター（第一棟（既存）＋第二棟（増設））の炭素生産性を、基準年度（2022年3月期）に対して目標年度の2025年3月期に275.9%向上させることを目標とします。なお、三鷹第二データセンターは2023年5月に竣工し、6月に開所する予定です。

(3) 財務内容の健全性の向上を示す目標

2025年3月期（計画終了年度）に経常利益を計上することを目標とします。

(4) 事業適応の類型

③エネルギー利用環境負荷低減事業適応

(5) 計画の対象となる事業（日本標準産業分類における中分類名称及びその分類コード）

通信業（37）

情報サービス業（39）

計画の対象となる事業は、インターネットを通じて情報サービスの提供を行うデータセン

ター事業です。

(6) 事業適応の具体的内容

当事業適応計画は、当社の三鷹第二データセンターの増設（第二棟）にかかる設備投資を行うものであり、第一棟と同様に、高効率な機器の採用や外気利用等、グリーン配慮機能を盛り込み、脱炭素社会へ貢献します。

具体的な一例としては、電力使用内訳をモニタリングし、IT 負荷の状況に応じた空調制御を行うことで空調運用に係る電力消費、それに伴う二酸化炭素排出量の削減を実現します。

データセンターの設計（2021年5月開始）から竣工（2023年5月予定）、開所（2023年6月予定）を予定しており、目標年度（2025年3月期）に第一棟と合わせて三鷹第二データセンター（第二棟（増設））の炭素生産性を、基準年度（2022年3月期）に対して275.9%向上させることを目標とします。（2022年3月期の第一棟の入居組織に関する付加価値額と、2025年3月期の第一棟及び第二棟に関する付加価値額をベースに算定したものの）

(7) 事業適応の開始時期及び終了時期

開始時期 2023年6月、終了時期 2025年3月